

広報 すぎなみ

Suginami



みどり豊かな 住まいのみやこ

{ 10/15 }
令和4年(2022年)
No.2339

口笛が奏でる
心地よい音楽。

感情を込めて歌うように。軽やかなリズムを刻むように。口元から、変幻自在に音楽を奏でるのは口笛奏者の武田裕熙さん。3年ぶりに本格開催される阿佐谷ジャズストリート2022に出演します。ジャズとの出会い、口笛奏者を目指したきっかけなど、海外で暮らした経験も豊富な武田さんの視点から、さまざまな話を伺いました。

特集

↑
すぎなみピト

口笛奏者
武田裕熙



〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 ☎ 3312-2111(代表) FAX 3312-9911(広報課直通) 🌐 区ホームページ: <https://www.city.suginami.tokyo.jp/> 📄 発行: 杉並区 🗒 編集: 広報課

お知らせ

新型コロナウイルスの感染状況によっては、本紙掲載の催し等が変更・延期または中止になる場合があります。最新情報は、区ホームページをご確認ください。

広報すぎなみは月2回(1・15日)発行。新聞折り込みのほか、区の施設・駅・コンビニエンスストアなどの広報スタンドに設置しています。



口笛は吹くと自然と笑顔になるもの。心に響く音楽を届けたい♪

阿佐谷で出会ったジャズ。やがて口笛にも夢中に

—さまざまなジャンルの音楽を演奏する武田さん。ジャズや口笛とはどのようなきっかけで出会ったのですか？

杉並で生まれ、その後海外での暮らしを経て再び杉並に戻って来ていた小学校6年生の時、阿佐谷ジャズストリートを見に行ったことがジャズとの初めての出会いでした。それまではクラシックピアノを習っていたのですが、ジャズストリートで見た阿佐ヶ谷神明宮での山下洋輔さんの演奏がすごすぎて。山下さんは特に前衛的な演奏をされるので、それを目の当たりにして「ジャズ、カッコいいな…！」と衝撃を受けました。その後、中学3年でオランダへ転居した際、現地の学校に入るまでの数カ月間、暇を持て余している中で「口笛で高い音を吹く方法」をなんとなくネットで調べたことから、口笛を始めました。



▲第4回日本オープンくちぶえ音楽コンクール2010準優勝

—たまたま口笛だったというのが興味深いですね。

なぜ口笛だったのかは思い出せないのですが、ネットを見ながら練習していくうちに、それまでピアノで弾いてきた曲を口笛でも吹けるようになってきて、その楽しさに目覚めました。同時に、学校ではジャズ研究会に入りサクスを始めて、ジャズの世界にも入っていきました。

—本格的に口笛を極めようと思ったのはなぜだったのですか？

ある時テレビで、口笛の世界チャンピオンが3オクターブ出しているところを見てすごいなと思って、自分もやってみたら3オクターブ吹けたんです。今思えばただそれだけのことなのに、自分は口笛がうまいと勘違いしたんですね(笑)。これはやるしかないと思った。ところが実際に口笛の大会を見に行くと、自分より上手な人がたくさんいて悔しくて。その悔しさがモチベーションとなって、口笛を本格的に猛練習するようになりました。

—口笛の練習・習得というのは、どうやってするものなのですか？

口笛教室などもありますが、私の場合は独学でした。自分ができない技や表現をしている人の動画を見て、聞いて、自分もできるようになるまでひたすら練習するというのを繰り返しました。技というのは、例えば音の出し方や終わり方、音の切り替え方などです。同じ表現をするにしても、例えば舌を使う方法、頬と空気を出す方法など、手法がいくつもあります。あまり知られていないかもしれませんが、上級者スキルとしては口笛で和音を出す技もあるんですよ。



プロフィール：武田裕熙（たけだ・ゆうき）杉並生まれ。幼少期よりさまざまな楽器に親しみ独学で習得。世界7カ国に在住・留学経験を持ち、日本語・英語・フランス語・スペイン語・ポルトガル語の5カ国語を操る。東京大学入学後に渡米し、ミドルベリー大学を卒業。外資系コンサル勤務を経て、現在は都内のITベンチャーに勤務する傍ら、口笛奏者として演奏・普及活動に尽力する。2010年国際口笛大会ティーンエイジ部門優勝、2014年同大会2部門で準優勝、2019年口笛音楽マスターズ国際コンクールで男性総合優勝および吹き吹き部門優勝など受賞多数。

—口笛で和音まで表現できるとは驚きです…！

できる人は多くないですが、私も頑張って習得しました。そういった技の数々を、とにかく片っ端から練習して全て習得し、さらに自身でも技を生み出したりしながら、レベルを上げていきました。また練習曲を選ぶ際は、必ずその時の自分のレベルよりも「半歩上」の難易度を選ぶことも心掛けています。挑戦することで力が伸びるので。そんな積み重ねを経て、2010年国際口笛大会ティーンエイジ部門で優勝、2019年カリフォルニア州の口笛音楽マスターズ国際コンクール2部門で優勝と成果につなげてきました。

「口笛×ジャズ」から生まれる音楽の可能性は無限大

—今回、阿佐谷ジャズストリートに出演されるのはどんな気持ちですか？

長く杉並で地域活動を行ってきた祖父が今年、阿佐谷で地域の方が集る「まちサロン」をオープンし、そのつながりから今回ジャズストリートへの出演に声を掛けていただきました。とてもうれしかったです。私自身は今年の6月から、小学校6年生ぶりに杉並に戻り、妻と1歳の子どもと暮らしています。少年時代に阿佐谷ジャズストリートでジャズと出会い、いろんな国、いろんな音楽をぐるりとまわって、杉並区民として阿佐谷ジャズストリートに戻ってきたことに、深い縁を感じます。口笛とジャズを続けてきて良かったなと思います。

—口笛とジャズがどう響き合うのか、とても楽しみです。

ジャズストリートのステージでは、大学時代から一緒に演奏している千葉岳洋さんのピアノ・鍵盤ハーモニカと共にセッションします。私はギターを弾きながら口笛を吹きます。「口笛×ジャズ」から生まれる可能性は無限大。スタンダードジャズからポップス、オリジナル曲まで、多様な表情のジャズをお届けする予定です。口笛とジャズが組み合わさる新しい感覚を味わっていただけるのではないのでしょうか。

—武田さんが考える口笛の魅力とは？

そうですね、歌と同様で、何も介さず自分の脳から直接表現できることでしょうか。思いがそのまま音になって出てくるのは、口笛のすてきなところだと思います。また、ニッチな演奏人口がまだ多くなく、世界までの道のりが比較的遠くないことも魅力です。奏者それぞれが独自に技術を見つけたり開発したりしながら発展してきた分野なので、体系化もされていない。未開拓だからこそ、技術的にも音楽的にも、すごくポテンシャルがあると思っています。あとは何よりも「人」ですね。世界中のいろんな人たちと、口笛を通して友達になれるのが本当に楽しいです。

—この数年間は音楽活動が制限されて苦悩もあったのでは？

コロナ禍が始まった時、私はフィリピンで暮らしていたのですが、やはり生の音楽はどんどん消えていきました。その年はちょうど2年に1度川崎で開催される口笛世界大会の年だったので、そこに向けてずっと練習をし

てきていたのですが、大会は中止になり、みんなが悔しい思いを抱えていました。そんな中、それならオンラインでやろう！ とオンラインの口笛大会を仲間たちの協力を得ながら発起したんです。世界二十数カ国から130人ほどの口笛奏者が挑戦し、充実した大会になりました。そんなふう仲間が世界中にいて、つながっているコミュニティの素晴らしさも、私が口笛に惹かれ続ける理由の一つだと感じます。

いつか口笛奏者が特別でなくなる時を目指して

—口笛で叶えたい夢、目指すところはありますか？

私自身は「口笛は楽器と同じことができるのだ」ということを証明したくて、ずっと口笛を続けてきた面があります。今はまだどうしても口笛の演奏を聴くと「すごいね」と言われることが多いのですが、もっと口笛が浸透して行って、音楽として「いいね」と感じてもらえるようになってほしいと願っています。そのためにも、心に訴えかける口笛を奏でていきたいです。いつか口笛奏者が特別なものでなく、ピアニストやギタリストのように一音楽家として一般化されることが目標です。

—最後に、阿佐谷ジャズストリートに向けて区民の皆さんへメッセージをお願いします。

3年ぶりの本格開催となる阿佐谷ジャズストリート。身近な口笛、でもいつもとは少し違うジャズを、ぜひ楽しんでいただきたいです。そして私自身も思いきり楽しみたいです。口笛ってすごくポジティブで、吹く時に口角が自然と上がる。気分が沈んでいる時も口笛を吹くと、気持ちが落ち着いたりするんです。ジャズストリートで口笛を吹きながら、お客さんと一緒に喜びを分かち合える時間がつくれることを楽しみにしています。



武田さんに聞く 口笛に合う、おすすめジャズ3選！

♪ 枯葉 Les Feuilles Mortes (Joseph Kosma)
スタンダードの中のスタンダード。哀愁漂う別れのシャンソンも、口笛で吹けば新たな情緒が吹き込まれるでしょう。

♪ ルパン三世のテーマ (大野雄二)
元気なイメージのこの曲も、都会の夜にたたずむルパンをイメージしながら吹けば、渋さマシマシに。

口笛とジャズを気軽に楽しんでみませんか？ 口笛に合うジャズのオススメの3曲を武田さんに教えてもらいました。

♪ ブルーゼット Bluesette (Toots Thielemans)
ジャズ愛好家なら誰もが思い浮かべる、口笛ジャズといえばトーツ・シールマンズのこの曲。ギターとのユニゾンがたまりません。

武田裕熙さんも参加します！

阿佐谷 JAZZ STREETS 2022

阿佐谷ジャズストリート2022

10月21日(金)・22日(土)

3年ぶりの本格開催となる阿佐谷ジャズストリート2022。街中がジャズに染まる2日間。ジャズの音色で地域の中に明るさと元気をお届けします！

詳しくは16面をご覧ください